

ITC-J 第36期 テーマ : You Raise Me Up 優しさと励ましのコミュニケーション
 カウンسلNo.7 第30期 テーマ : 継承と向上 ~叡智をめざして~



「 継承と向上 ~叡智をめざして~ 」

カウンシルNo.7 第30期会長 住田 実寧子

「継承と向上 ~叡智をめざして~」のテーマを掲げて出発致しましたカウンシルNo.7第30期も、いよいよ終盤を迎えました。30周年という節目の年に何を目指していくべきかを思う時、いつも心に浮かびますのは、西尾琉璃子初代会長の志の深さと今期まで引き継がれて来たNo.7のたゆみなき努力と創意工夫のその歴史です。それらを、叡智として高めていく事をめざして3回の会合の中で、会員の皆さまと共に取り組んで参りました。

第1回会合は、30周年記念会合として「継続を寿ぐ」のテーマのもと内外のゲストをお迎えし、平井伸治鳥取県知事のご講演を執り行いました。また、「学びの継承」と題して初めて山陰で開催されたリージョン大会や歴代の活動状況を映像で振り返りました。心に残る記念会合となりました。3月初旬の「第5回 ITC-Jのつどい」では、予想を上回る参加者があり、ITC-Jの活動を社会に広報することができました。後日、2名の新入会員を迎えましたことは、この上ない喜びです。

第2回会合では、「成果を楽しむ」をテーマとしてスピーチコンテストを開催し、出場者のスピーチを共に楽しみ、スピーカーの思いを共有しました。

第3回会合は、「叡智をめざす」のテーマのもと全所属クラブのお奨め教育・プログラムを、全会員参加で開催致します。各クラブから選りすぐりのプログラムを提供頂きます。リーダーへの貴重な発表の機会提供であり、また今後の各クラブでの教育・プログラムに効果的な作用をもたらすものと思っています。どうぞお楽しみになさって下さい。

今期は、前期末のITCの解散、それに続く新生ITC-Jの誕生という予想だにできなかった組織の大変革の年度でもありました。会員一人一人が組織体の一員として誇りを持ちながら新組織の構築に参加し、見守って参りました。私たちは、この大きな試練と復活を貴重な経験として今後に生かしたいものと考えております。

第30期はもうすぐ次期へとバトンを引き渡します。
 来期も又、素晴らしいカウンシルNo.7が継承され更に向上し、学びが叡智へと昇華しますようにと願いますと共に、カウンシルNo.7の末永い発展を祈って止みません。

鳥取

クラブ間交流プログラム



「クリスマスへのいざない」

講師 バレー教室主宰

2017年12月

柴田詩緒会員

鳥取クラブでは、12月例会をクラブ間交流プログラムとして他クラブの方との交流を深めました。一般ゲスト2名と他クラブからは22名の参加がありました。

バレエの歴史や音楽、衣装など多岐にわたる講演でバレエへの興味を深めました。バレエ3大戯曲の一つである「くるみわり人形」の童話の朗読を聞き、バレエ教室の発表会のビデオを鑑賞し、原作との違いなどを学びました。使用された衣装やトウシューズも展示され、バレリーナとしての苦労話など普段聞けない話に参加者のみなさんからも質問も出て、とても楽しい会となりました。メイクの実演をされたり、バレエの立ち振る舞いなども教わった後、参加者全員で実際にしてみました。

講演の後も柴田会員に質問されたり、衣装やお化粧道具を見たりと華やかな舞台の裏側を知るいい機会となりました。

今後もこのような交流の機会を設けていきたいと思います。

(第二副会長 中安令子)



米子

クラブ間交流プログラム



講演 「育てるー受け継ぐ」

2018年1月

～ドイツから学んだこと、日本の和の文化～

講師 渡邊真子(なおこ)様 (国立米子高等専門学校ドイツ語非常勤講師)

一般のゲストの方を6名、他クラブ会員を25名お迎えして開催し、沢山の方にお越し頂き、渡邊様にも喜んで頂くことが出来ました。

渡邊様はとにかくドイツが大好き！グリム童話が好き！の気持ちが溢れんばかりのお話で参加者の心を魅了されました。ドイツでグリム童話の研究のために結婚後もお子様同伴でグリム童話研究所に通われるほどの情熱家です。グリム童話が生まれ、受け継がれている社会的、歴史的な背景、物を大切にし、自国の技術、文化を大切に保護し次世代に繋げていくという姿勢などお話下さいました。参加者からは、「知るよりも好む、そして楽しむ人がより深くプロフェッショナルな人になれることが認識できた」、「ドイツが大好きという気持ちががほとぼり出るような話し方で、体験談で分かり易くドイツを再認識できた」、「遠い国と思っていたが身近に感じられる国となり是非訪れてみたい国になった」など好意的な感想を多く頂きました。

(第二副会長 柴田久実子)



倉吉

クラブ間交流プログラム



30周年記念例会 2017年12月

講演 「なりたい自分になる」 講師 大野三恵子様 (京都クラブ)

来賓ゲスト33名、No.7内ゲスト43名をお迎えし、認証30周年を共に祝っていただくことが出来ました。(総登録者数は104名)

倉吉クラブの第30期のテーマは、「収穫」～30年の軌跡から明日へ～でした。吉田知子会長のもと30名の会員が心を合わせて準備してきた記念例会は、まさに30年の収穫祭に相応しい喜びを会員一同で共感できることとなりました。

熱意溢れる大野様の1時間の講演に、会員もゲストの皆様も多くの生きるヒントを頂き魅了されたことでしょう。

昼食の後は、「映像で振り返るクラブの歴史」、若い頃の会員の澁刺とした姿に懐かしさを感じました。エンターテインメントは、チェリスト松浦ふさ代氏による華麗なチェロの調べを堪能することが出来ました。12月という季節に相応しい心落ち着く素敵な曲目でした。最後に、チャーターメンバー5名に花束が贈呈され、それぞれが一言ずつメッセージを述べた後、若い会員達から素敵な歌のプレゼントを頂き、感動が会場一杯に拡がりました。沢山の「収穫」を得た倉吉クラブは、明日へ向かって飛躍していきたいと思えます。

(第二副会長 藤井豊子)

米子マンデー

クラブ間交流プログラム



congratulations



教育 「説得スピーチバトル」 2018年3月

No.7内ゲスト22名を迎えて、即実践、テーマについて与えられたYESまたはNOの立場で即興スピーチをします。持ち時間は1分半！聴衆は、より説得力があると思った方に投票し、トーナメント方式で勝者を決めます。バトラーが8名、他クラブの会員さんにも参加いただきました。参加者、バトラーの方々の弁舌の素晴らしさに称賛の連続でした。その場で指名、その場で、論ずるテーマと自分の意志とは関係ない賛成、反対が指定され、ほとんど即座に発言が求められる過酷バトル。にもかかわらず、まるで以前から考え抜かれたような素晴らしく濃い内容の示唆に富んだ言葉が、よどみなくポンポンとバトラーの口から飛び出てくる。改めてITC-Jメンバーの知性と度胸の良さに感嘆致しました。

他クラブの皆様にご挨拶申し上げます。ありがとうございました。

参加者の感想として、米子マンデークラブは素晴らしい個性の集まりですね。活き活きた魅力的な交流会でした。受付やテーブルのデコレーションも楽しく、プログラムや冊子もセンス良くとても良くできていて心がこもっていました。いろいろ学ばせて頂きました。との声を戴きました。

(第二副会長 高野美代子)

出雲

クラブ間交流プログラム



講演 「こころの声を聴く」
講師 臨床心理士 齋藤 渉氏

2018年1月

昨今、多種、多様な情報伝達技術が進んでいますがかえって、今ほどこころが身近な相手に伝わりにくい時代はないように思えます。今期出雲クラブ目標の一つ「上手な聴き方」のスキルアップを図るために島根大学医学部やYMCA 米子医療福祉専門学校で非常勤講師を務められ、島根県・スクールカウンセラー、ストレスカウンセリング相談員としてご活躍の臨床心理士 齋藤渉氏に「こころの声を聴く」と題して講演をしていただきました。

インフルエンザが猛威をふるう寒い時期でしたが鳥取、倉吉、米子、出雲市内広域から参加していただき、No.7内ゲスト15名一般ゲスト16名を迎え、会員25名、総数57名で少し華やかに、又緊張感の増した例会を開くことができました。

まず、こころはどこにある？こころのしくみと働きについて考え、その後、グループディスカッション、小グループに分かれ、こころについて日頃感じていることを話し合うとレジメは進みグループでその内容を発表しました。

さすがITC-J、初めて会った一般ゲストと共に話が弾みました。私たちは時間に追われ、結果を急速に求めてはいませんか。こころの健康を保つには無駄なことも人生には大事とおっしゃっています。一番うれしかったことは参加された他クラブのかたが当クラブの欠席者に「とても良い資料でしたよ。是非お読みなさい」とコミュニケーションが続いたことです。

(第二副会長 江田咲子)



とっとり砂丘

クラブ間交流プログラム



講演 「人の心の痛手がわかる伝え方」～アナウンサーとしての挑戦～
講師 日本海テレビ 福谷 貞夫氏 2018年3月

No.7内よりゲスト25名を迎え、総勢40名で、3月20日講演会を開催しました。アナウンサーになったきっかけ。それは過去の自分の苦い経験の中で一人のアナウンサーとの出会いだった。自分が落ち込んでいるときにそのアナウンサーの方から頂いた心温まる1通の手紙。それに感動し、自分もアナウンサーの道を志した。自身が日々伝える側として「相手の気持ちに寄り添う伝え方をすること」を常に心掛けている。例えば、災害などの場合、視聴者側が、興味があるであろう事柄をダイレクトに伝えるのではなく、そこには被害に遭われた方の心情を汲み取り、その方の立場を第一に考えて放送することに努めている。また、自分の報道スタイルとして8割は準備に時間を費やし、放送は2割。嘘は言わない。想像は言わない事を信条としている。アナウンサーとして誇りを持ち、常に相手の未来をも見据えた言葉の表現をすることを心掛けている、と熱く語られました。

現役アナウンサーの話の運びのうまさ、内容共に素晴らしく心に沁みました。熱意が伝わり感銘を受けました。たった70分間でしたが、福谷講師の人柄に触れ、これからのテレビの見方が変わります。クラブ間交流に相応しく、参考になることも多い良い企画に参加でき良かったです。などの感想が寄せられました。

(第二副会長 松下 恵美)



2018年6月4・5日 名古屋東急ホテルに於いて 36期ITC-J第1回年次大会が開催された。

大会テーマ “ 心をひとつに ”

大会登録者総数518名、来賓・ゲスト44名 計562名



西村みつ子ITC-J第36期会長



布野泰子
第二副会長



田中英子
予算・財務委員長



清水典子
派遣員資格確認委員長



吉田知子
会員代表挨拶



カウンスルNo.7会長・所属クラブ会長



スピーチコンテスト 英語の部に、松岡昭博会員、日本語の部に松下節子会員が出演し、強敵に伍して健闘した。



皆様お疲れ様でした。 派遣員資格確認委員会の方々。



5日午後の部計時係



スピーチコンテスト
英語の部 評価者



スピーチコンテスト
日本語の部 エスコート



役員退任式、布野第二副会長へ記念品が贈られた。



役員就任式、選出役員が力強く宣誓し、加藤正枝第37期会長挨拶、会長テーマが発表された。



表彰 稲井幾子30年継続会員代表

30年継続会員
藤井豊子(倉)
中本みゆき(倉)
尾崎千鶴(倉)
尾崎恒子(倉)
20年継続会員
吾郷俊子(出)
今岡厚子(出)
下手泰子(出)
廣田花江(倉)



教育セッション B
竹内ひとみPL



派遣員の皆様、お疲れ様でした。



クロージングソートを
住田実車子カウンスルNo.7会長が、
新生ITC-Jに思いを寄せて、朗読した。



表彰 会員数30人以上のクラブ
倉吉・出雲クラブ



第36期は、特別委員会 組織検討委員として活躍、
第37期も、岡崎祥子会員は、ITC-J議会法規役員、
栗野順子会員は、ITC-J編集者に任命された。



選出役員 第37期 書記 野口美智枝(左)
会計 柴田久実子(右)

皆様のご健闘を
お祈りいたします!



ITC-J カウンシル No.7 第30期 第3回会合

年間テーマ **継承と向上 ～ 叡智をめざして～**

会合テーマ 「叡智をめざす」

日時：2018年6月26日(火) 11:00～14:30

場所：倉吉シティホテル

担当：倉吉クラブ

【午前の部】

11:00	開 会 ITC-J宣誓 ゲスト紹介 会長挨拶	会 長 先導 加納 千恵美 (とっとり砂丘) 会 長・第二副会長 会 長
-------	--	---

ビジネス

ロールコール 議事録承認 通信報告 会計報告 役員報告 役員会報告 任命役員報告 常任委員会報告 特別委員会報告 新議事	書 記 議 長 書 記 会 計 各役員 書 記 議会法規役員・編集者 各委員長 各委員長 議 長
---	---

役員就任式 テーマ “ 連 携 ”

インストラリングオフィサー アシスタント	井上 壽子(出雲) 下手 泰子(出雲)
-------------------------	------------------------

コメント

アナウンスメント 会 長・コーディネーター

12:10 昼 食

ITC-J 宣誓 (Pledge)

我々 インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション-ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication - Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

【午後の部】

13:00 インスピレーション 小西 協子 (米子マンデー)
 プログラム プログラムリーダー 吉岡 きよ乃 (鳥取)

クラブお褒め教育・プログラム

分科会	鳥取クラブ	<u>短歌に挑戦</u>	森田 敦子・吉岡 きよ乃 …3階 カサブランカ
	米子クラブ	<u>傾聴を学ぶー教育と実践ー</u>	岡崎 祥子・浜田 一恵 …1階 クイーンズパーク
	倉吉クラブ	<u>Let's try 即興スピーチ</u>	藤井 敦子・倉光 千浪 …4階 レモンバーム
	米子マンデークラブ	<u>説得スピーチバトル</u>	小酒 萬喜子 …3階 マーガレット
	出雲クラブ	<u>音楽こぼれ話</u>	鈴木 務津美 …2階 本会場
	とっとり砂丘クラブ	<u>パステルで“夏”を描いてみよう</u>	川島 美智代 …4階 ローズマリー

分科会纏めの発表者

石河 和子 (鳥取)・勝部 芳子 (米子)・長谷川 真由美 (倉吉)
 竹川 奈保子 (米子マンデー)・佐藤 容子 (出雲)・平尾 静代 (とっとり砂丘)

コメント

アナウンスメント

コーディネーター ・ 次期会長 ・ 第一副会長
 会長

14:30

閉 会

計時係

川崎 律世 ・ 谷田 恵美子 (米子)

コーディネーター

山本 令子 (倉吉)

コ・コーディネーター

由田 小百合 (倉吉)

14:35

C M T

インスピレーション

一日の終わり 夕陽を眺めながら
 その日をふり返る
 次の朝 陽光を浴びながら
 一日の活力を願う

積み重ねた日々を糧にして
 伝統への道標に向かい
 今日 この一步を踏み出す

積み重ねた日々を糧にして
 叡智への道標に向かい
 今日 またもう一步踏み出す

会員数と第3回会合登録者数

クラブ	鳥取	米子	倉吉	米子マンデー	出雲	とっとり砂丘	合計	ゲスト数	総数	会員出席率
会員数	25	13	32	17	31	21	139	8	109	73%
登録者数	17	11	27	11	22	13	101			

中井明子カウンスル第一副会長よりの役職辞任の申し出により、役員会で協議の結果、カウンスル会則6.7に則り、役員会の投票により野口美智枝プログラム・教育委員を後任とすることを決定し、所属6クラブへ異議の有無を問うと共に、第2回会合にて、派遣員の追認を得ました。

新入会員のお知らせ

2018年6月入会会員

堀本 佳津衣

(米子マンデー)

Welcome

第29期～第30期入会会員の声



2016.9
恩田 陽子(倉)

きっかけはお友達の能見和代さんからのご紹介でした。はじめてゲストとして参加して、ビジネスやスピーチの雰囲気の中、緊張感ある会場でキラキラした先輩方の学ぶお姿に感動し、私もこの一員になりたい、学びたいって思いました。趣味は音楽鑑賞で学生時代は吹奏楽部で長く活動していました。所属する倉吉文化団体は5月のアザレアのまち音楽祭と倉文協連合展がありますが、その広報活動や企画運営をしています。



2016.10
鐘築 直子(米マ)

会員のお子様と友人で、その方からのお誘いで入会。能天気で好奇心旺盛な食いしん坊です。食べるのが大好きで、お料理も大好きです。出来るだけ自然の恵みを生かしたお料理を心掛けていて、自家製のパン、お味噌、梅干し等を楽しんでいます。体を動かすことも大好きで、この夏はサップに挑戦したいと思います。最近、日本文化にとっても興味があり、毎日着物生活をするのを夢見ております。



2017.1
上野 洋子(倉)

上手な話し方、聞き方の力を育成したいと思っていたときに、倉吉クラブチャーターメンバーの藤井豊子さんにお声をかけて頂きITC-Jに入会いたしました。趣味は、読書、旅行、ゴルフ、ゴスペルを歌うこと、フィギュアスケートのアイスショーや大会観戦です。いつも会員の皆さんがITC-Jのメンバーとして誇りを持って活動している姿に尊敬の念を感じています。まだ会員になって間もないですが、少しずつ学んで行けたらと思っています。



2017.5
藤縄 裕子(と砂)

お声をかけていただき、例会の見学をさせていただいたのが入会のきっかけです。様々なテーマに触れ勉強できること、そして素敵な方々とご一緒できることに魅力を感じました。もともとお声をかけていただいたのも、フランス滞在体験をゲストとしてお話しませんか、ということでしたので、趣味はフランスに関することが多いでしょう。美術、映画、食です。どうぞよろしくお願ひ致します。



2017.6
井上ドミニク(鳥)

ビートルユーゴーいわく、“人間は生れた暗闇から、自分の光に向かって歩む”。私も生まれてからずっと歩き続けています。フランスの航空会社勤務、旅行会社責任者、EU欧州連合の東京代表部報道室長など、私は私の道を作りました。3年近く前、主人とフランスから連れて来た猫と共に、鳥取に住み始めました。フランス語や気功太極拳を教え、翻訳や講演をしつつ、整体とアロマセラピーの活動もしています。そこでITCJの皆様に出会えて参加する事になりました。



2017.6
森田 敦子(鳥)

知人の会員の方からお誘いを受け、ITC-Jの活動に興味を抱きました。ゲスト参加だけでは実際によくわからないと思い入会させていただきました。趣味は「英語を忘れないようにすること」と短歌です。短歌はまだ十数年の歌歴ですがとても大切に思っています。歌想が浮かんだ時に味わうときめきと、推敲に没頭している無心の時が一番の魅力です。



2017.6
川島美智代(と砂)

会員の方からお誘いを受けて、1度ゲスト参加いたしました。その時の皆様の流暢な会話、優しくあたたかなお心遣いに本当に驚き、感激し、すぐに入会を希望いたしました。その思いは今も続いており、私にとって自己成長の場として、本当に感謝しております。ファイナンシャルプランナー・パステルアート講師・終活カウンセラー。趣味は、読書と愛犬の散歩。いろいろな本を読みますが、すこし涙もろいです。



2017.7
岡田 千賀(鳥)

同窓会で会った会員のお友達からの紹介で入会。私は今まで、旅行会社、旅館、百貨店、保険の営業と、常に接客がありました。それは、相手が笑顔になる為のお手伝いの仕事です。ITC-Jでコミュニケーション能力を上げながら、文化、教養も学べる魅力ある時間を過ごせ、更には仕事にも生かしたいと思います。また、多趣味の私は旅行、料理、音楽、歴史、本、スポーツと興味は一杯ですが、一番楽しみなのは、ITC-Jで出逢える人達との交流です。



2018.4
川崎もと子(倉)

入会のきっかけは、誘ってくださった方の言葉が心に響いたからです。滑舌が悪く、声のトーンも低く人前で話すのが苦手です。相手の心に響くよう、限られた時間の中で自分の伝えたいことを話せるようになるのでしょか。ご指導ご鞭撻よろしくお願ひします。趣味は、作ること。無心にチクチクと針を動かしたり、トントンと包丁で野菜を刻み、料理を作ること。やっとうまくできあがりました。とても満足しています。



2018.4
奥田美智子(倉)

3月に倉吉地区でITC-J主催の高塚人志先生の講演会が開催されました。地元でもあり、傾聴、コミュニケーションという内容にも惹かれ参加させていただきましたところ、会員の皆様方の、生き生きとした姿に魅力を感じ入会を希望致しました。精神世界に関心があります。視点が変われば世界が変わる、という思いのもと自分を楽しんでいます。趣味は、内観、読書、絵画、等です。

編集後記

皆様のご協力で、第3号を発行できました。WEB掲載の良いところは、紙面の制約がないところ、フルカラー8面に第30期の記録を残すことが出来て、うれしく思います。(編集 廣田花江・黒田多美子・大津理恵)